

インターペット ～人とペットの豊かな暮らしフェア～ 開催される

令和3年4月1日（木）から4月4日（日）までの4日間、東京ビッグサイトにおいて、メッセフランクフルトジャパン(株)主催、ペットフード協会及び日本ペット用品工業会特別協賛による「第10回インターペット～人とペットの豊かな暮らしフェア～」が開催された。

新型コロナウイルス対策が施された会場には、4日間で来場者28,387人、犬や猫等のペット13,736頭が飼い主とともに訪れ、会場は大いに賑わった。本会として7回目の参加となる今回は、本会主催ステージ企画を実施した。以下に概要を報告する。

4月3日（土）、本会主催のステージ企画「人と動物と自然環境の関係修復がパンデミックを防ぐーひとりひとりが取り組むワンヘルスアプローチ」が行われた。会場内の特設ステージでは、本会の村中志朗副会長を座長・進行役として、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）が私たちの生活に大きな影響をもたらす中、同感染症をはじめとする「人と動物の共通感染症」の脅威に対応するうえで、動物の健康、人の健康、環境の保全を一体的に考える「ワンヘルス」の考え方が世界的に注目されていることを紹介し、獣医師、医師、自然環境の専門家がワンヘルスの仕組みをわかりやすく解説し、私たちひとりひとりができる具体的な取組みを紹介するパネルディスカッションが行われた。

企画の冒頭、本会の藏内勇夫会長からビデオメッセージにより、「2021インターペットにおける日本獣医師会ステージ企画、『人と動物と自然環境の関係修復がパンデミックを防ぐーひとりひとりが取り組むワンヘルスアプローチ』が皆様のご参加を得て開催されることに對し、日本獣医師会を代表して心から感謝申し上げます。このたびの新型コロナウイルスの感染拡大は、私たちの生活と経済活動に多大なる影響を及ぼしました。このインターペットも開催が危ぶまれましたが、参加いただく皆様とペットたちの健康保全を第一に考え、感染予防対策を万全に講じることを条件として、主催者及び関係者の方々のご尽力により開催が決定されたと伺っております。日本獣医師会も感染予防を第一に考え、例年開催してきた子どもたちの獣医師体験イベントは中止いたしました。しかしこのステージ企画は、コロナ禍の中で本会が最優先課題として取り組んでいる『ワンヘルスの考え方』を皆様に紹介し、ご理解を深めていただく貴重な機会になると考え、開催させていただくことといたしました。このたびの新型コロナウイルス感染症も動物由

来の人と動物の共通感染症と言われており、その対策を講じるうえで、人と動物の健康と環境保全を一体的に推進するワンヘルスアプローチの重要性が一層高まっています。日本獣医師会は、平成22年に『人と動物の健康はひとつ、そしてそれは地球の願い』という活動指針を採択して、ワンヘルスの考え方を取り入れました。また、平成25年には、日本医師会と日本獣医師会との間で学術協力の推進に関する協定を締結し、その後、地域の医師会、地方獣医師会においても次々に協定が締結され、今日では日本全国で医師と獣医師が連携するワンヘルスの実践体制が構築されています。一方、世界的にもワンヘルスの考え方が重視されています。私は、昨秋アジア各国の獣医師会の連合体であるアジア獣医師会連合、FAVAという組織の副会長に就任いたしました。FAVAの戦略構築においてもワンヘルスが重要課題として取り上げられ、その普及と実践に関する委員会が設置され、私もその運営に参画しています。また、このような取組みは環境関係団体にも広がり、本年1月15日に、日本獣医師会と日本医師会は世界自然保護基金WWFジャパンをはじめとする環境団体とともに、『人と動物、生態系の健康はひとつ～ワンヘルス共同宣言』を発表しました。今後は、医学、獣医学、環境保全に関する関係者が一体となった活動の推進に一層拍車がかかるものと期待しています。今回の連携シンポジウムでは、日本獣医師会の村中志朗副会長をオーガナイザーとして、医師側からは東京都医師会の尾崎治夫会長、獣医師側からは東京都獣医師会の中川清志副会長、そして環境を考える立場のWWFジャパンの東梅貞義事務局長をお迎えし、ワンヘルスの仕組みをわかりやすく解説していただくとともに、私たちひとりひとりができる具体的な取組みを紹介します。ご来場の皆様方に改めて厚くお礼申し上げるとともに、ワンヘルスの概念が普及し、コロナ禍を乗り越えて人と動物が共存する環境の整備が一層推進されることを祈念いたします。」と挨拶された。

続いて本会村中副会長からステージコンセプトの紹介が行われた後、まず世界自然保護基金ジャパンの東梅貞義事務局長から自然環境や野生動物をめぐる今日の課題が提示され、感染症の関連性からも正しい知識の下、野生動物とかわることの重要性が、次に東京都獣医師会の中川清志副会長から動物由来感染症の現状が紹介され、新型コロナウイルス感染症とペットを取り巻く現状と課題が、そして東京都医師会の尾崎治夫会長から過去

の感染症のパンデミックに関する例を振り返りつつ、今回の新型コロナウイルス感染症によるパンデミックで顕在化した私達の課題が、それぞれ講演された。企画後半

には演者によるディスカッションが行われた。ステージ前のベンチは感染対策のため1名ずつ間隔を空けての着席であったが、ほぼ満席となる盛況であった。



図1 会場で上映された藏内会長によるビデオメッセージ



図2 企画の趣旨を説明する村中志朗副会長



図3 講演する世界自然保護基金ジャパン東梅貞義事務局長



図4 講演する東京都獣医師会中川清志副会長



図5 講演する東京都医師会尾崎治夫会長



図6 座長を務める村中志朗副会長



図7 パネルディスカッションの様子



図8 開催後の会場にて、左から東京都獣医師会中川副会長、東京都医師会尾崎会長、世界自然保護基金ジャパン東梅事務局長、本会村中副会長



図9 熱心に講演を聴く来場者